

2019年度自然科学研究機構生命創成探究センター
E x C E L L S 課題研究（一般） 公募要項

1. 公募事項

E x C E L L S 課題研究（一般）

生命創成探究センター（E x C E L L S）では、「生きているとは何か？」という人類共通の根源的な問いに答えることを目指し、関連する以下の研究課題について、自然科学研究機構以外の大学及び公的研究機関に所属する研究者との共同利用研究を進めて参りました。今回、E x C E L L Sにおける共同利用研究をさらに発展させるため、E x C E L L S 課題研究（一般）を募集します。E x C E L L S 課題研究（一般）では、以下に掲げる研究課題について、自然科学研究機構以外の大学及び公的研究機関に所属する研究者に、本センターに所属する2つ以上の研究グループおよび本センターが新たに雇用する年俸制の特任助教*と協力して研究を実施していただきます。

〈研究課題〉

1. 人工細胞創成に向けての基盤技術の開発研究
 - (1) 理論・計算科学および化学的アプローチ
 - (2) 分子・細胞生物学的アプローチ
2. 細胞ネットワークの人工構築に関する研究
3. 生命の極限環境適応に関する研究

*E x C E L L S 課題研究（一般）の特任助教は生命創成探究センターにおいて当該研究に従事するものとする。

2. 研究期間

最長で5年間とする。

採択後に中間評価を実施する場合がある。

3. 研究費

1年度あたり1,000万円（特任助教の人件費込み）を上限として、研究費を配分します。

4. 採択数

1～2件

（課題研究（一般）として適当と認められるものが無い場合には、採択を留保する場合がある。）

5. 申込資格

大学又は公的研究機関に所属する研究者又はセンター長がこれと同等の研究能力を有すると認める者（自然科学研究機構に所属する研究者は除く）。

6. 申込方法

提案する研究内容と最も関連がある本センターの研究グループの責任者と研究課題、研究計画、必要経費等について打ち合わせを行った後、申込書を所属機関（又は部局）の長を通じて提出してください。

本センターで課題研究（一般）に参画する研究グループの責任者、研究内容等については、生命創成探究センターHP（<http://www.excells.orion.ac.jp/kyodo/2019excellskadai>）をご参照ください。

7. 申込期限

2019年6月28日（金）（必着）

8. 採否決定

本センター運営委員会共同利用研究部会の議を経てセンター長が決定します。

なお、審査にあたり、本センター運営委員会共同利用研究部会において提案代表者へのヒアリングを実施します。

9. 採否決定の時期

2019年8月末頃

10. 旅費

予算の範囲内で自然科学研究機構役職員旅費規程により支給します。

11. 放射線業務従事認定申請書の提出

本センターで放射性同位元素を使用される場合は、採択後、放射線業務従事者登録手続きが必要となります。

12. 遺伝子組換え実験

本センターで遺伝子組換え実験を伴う場合は、採択後、岡崎3機関の遺伝子組換え実験安全委員会の審査を経て承認が必要となります。

13. 動物実験

本センターで動物実験を伴う場合は、採択後、自然科学研究機構動物実験委員会の審査を経て機構長の承認が必要となります。

14. ヒト及びヒトから得られた標本を対象とする研究

本センターで「ヒト及びヒトから得られた標本を対象とする研究」を伴う場合、予め所属機関の倫理委員会での承認が必要です。所属機関に倫理委員会がない場合、所属機関長からの倫理上問題ない旨の確認書が必要となります。また、採択後、生理学研究所倫理委員会の審査を経て承認が必要となります。

加えて、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づく臨床研究に該当する研究課題については、事前に本センター内研究者にご相談ください。

15. ヒトゲノム・遺伝子解析研究

本センターで「ヒトゲノム・遺伝子解析研究」を伴う場合は、採択後、岡崎3機関生命倫理審査委員会の審査を経て承認が必要となります。

16. 研究報告書の提出

毎年度終了後すみやかに提案代表者から研究報告書を生命創成探究センター長へ提出していただきます。

この研究報告書は生命創成探究センターの発行する印刷物やホームページ等に掲載される場合があります。

17. 研究成果の明示

本共同利用研究で得られた成果を論文にされる場合は、生命創成探究センターの共同利用研究として行われたことを明示してください。

※記入例

(和文) 本研究は、自然科学研究機構生命創成探究センター共同利用研究(課題番号:***)の助成を受けたものである。

(英文) This research was supported by the Joint Research of the Exploratory Research Center on Life and Living Systems (ExCELLS). (ExCELLS program No, ***) 「***」は課題番号(採択通知に記載します。)

18. 知的財産権の取扱いについて

自然科学研究機構職務発明等規程（平成16年自機規程第12号）に定めるところによる。

19. 宿泊施設

共同利用研究者宿泊施設があり、利用できます。

なお、宿泊を希望される方は、生命創成探究センター内研究者に希望日を連絡していただければ宿泊申込み手続きをいたします。

20. 育児支援について

空きがある場合に事業所内保育施設を利用できます。（利用希望日の6週間前を目安に下記までお問い合わせください。）

自然科学研究機構岡崎統合事務センター総務部総務課総務係
電話 <0564>55-7112（ダイヤルイン）

21. 男女共同参画の推進

自然科学研究機構では男女共同参画を推進しています。共同利用研究の立案・実施にあたりご配慮をお願いします。

22. 個人情報について

公募により提供された個人情報は、課題審査を目的としてのみ利用します。

また、採択された課題については、広報用印刷物及びホームページ等に提案代表者氏名、所属、研究課題名等を掲載する場合がありますので、ご承知おき願います。

23. 申込書及び研究報告書送付先

〒444-8585 岡崎市明大寺町字西郷中38番地

自然科学研究機構岡崎統合事務センター総務部国際研究協力課共同利用係

電話 <0564>55-7133（ダイヤルイン） F A X <0564>55-7119

MAIL r7133@orion.ac.jp

24. 相談窓口

生命創成探究センターの共同利用研究に関して、不明な点や確認したい事項がありましたら、研究連携コーディネータまでお気軽にお問い合わせください。

〈研究連携コーディネータ〉特任助教 白瀧 千夏子

E-MAIL collabo@excells.orion.ac.jp

《 交 通 機 関 》

東京方面から

新幹線：豊橋下車

名鉄本線：豊橋→東岡崎（所要時間 特急20分）

大阪方面から

新幹線及び近鉄線：名古屋下車

名鉄本線：名鉄名古屋→東岡崎（所要時間 特急30分）

名鉄東岡崎駅南口より、竜美ヶ丘循環バス乗車、竜美北（3つ目）下車。徒歩3分。東岡崎から徒歩20分。

詳しくは、生命創成探究センターHP (<http://www.excells.orion.ac.jp/>)を御参照ください。

2019年度 生命創成探究センター ExCELLS 課題研究（一般）申込書

年 月 日

自然科学研究機構
生命創成探究センター長 殿

提案代表者

連絡先住所 〒

所属（大学、学部、研究科）・職名

ふりがな
氏名

(印)

電話（ ） — 内線 FAX（ ） —

Eメール

研究課題	
研究課題の分類	<p>1. 人工細胞創成に向けての基盤技術の開発研究</p> <p><input type="checkbox"/> (1) 理論・計算科学および化学的アプローチ</p> <p><input type="checkbox"/> (2) 分子・細胞生物学的アプローチ</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 細胞ネットワークの人工構築に関する研究</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 生命の極限環境適応に関する研究</p> <p>(いずれかを選択してください。)</p>
(1)研究目的 (2)研究内容 (3)研究計画	<p>} 別紙（様式任意、A4縦2枚程度）にまとめてください。</p> <p>(研究目的、全体の研究内容・方法および年度毎の研究計画を記入。実験動物の苦痛軽減法やヒトを対象とする場合は、18歳未満・成人・65歳以上の別、健常者・健常者以外の別を明記し、安全対策など具体的に記入してください。)</p>
研究期間	年 月 日～ 年 月 日
研究体制	(提案代表者を含め、参加する研究者の氏名、所属、職名、研究グループにおける役割分担をご記入ください。)

(記入欄が不足する場合は別紙として適宜追加してください)

下記の利用等について、記入してください。

(ア) アイソトープ (有・無)

(イ) 遺伝子組換え実験 (有・無)

(ウ) 動物実験 (有・無)

(エ) ヒト及びヒトから得られた標本を対象とする研究 (有・無)

「有」の場合、所属機関の倫理委員会の承認について (有・申請中)

(オ) ヒトゲノム・遺伝子解析研究 (有・無)

研究費の使途内訳（概算で結構ですので、年度毎の研究費使途内訳をご記入ください。）

【記入例】

2019 年度

（人件費）	万円	内訳：特任助教人件費	万円
（旅費）	万円	内訳：提案代表者等来所	万円
（設備備品費）	万円	内訳：〇〇装置	万円
（消耗品費）	万円	内訳：主要な消耗品 品目を記載	
（その他）	万円	内訳：主要なもの数点	

2020 年度

2021 年度

2022 年度

2023 年度

研究業績（申込者の最近5年間における主要な研究論文）

（著者・発行年・論文（著書）名・学協会誌名・巻・頁を記載し、本用紙内に収めてください。）

年 月 日

上記の生命創成探究センターExCELLS 課題研究（一般）の申込を承認する。

申込者の所属長

職印